

“興行街”浅草六区の復活を目指し、六区ブロードウェイを「ホワイエ」に  
**浅草六区にて国家戦略特区事業認定に向けた社会実験を開始**  
商業施設「六区セントラルスクエア」も4月16日(土)オープン

六区ブロードウェイ商店街振興組合(代表理事:熊澤永行)は、“興行街”浅草六区の復活を目指し、国家戦略特区事業認定へ向けた社会実験「浅草六区オープンカフェ2016～道路空間を活用したオープンカフェ社会実験～(以下、浅草六区オープンカフェ2016)」を4月16日(土)から9日間実施します。

「浅草六区オープンカフェ2016」は、“興行街”浅草六区の復活を目指し、浅草六区の街全体を劇場と捉え、六区ブロードウェイがホワイエ(※1)の役割を担っていくという構想のもと、道路空間の活用に関する効果・継続性・課題等を明確にし、国家戦略特区(※2)の「道路法の特例による道路占用許可等の緩和」事業認定の取得を目指します。今後、秋に実施予定の社会実験の結果と合わせ検証をし、その後、事業認定申請の手続きに入り、最短で2017年度の事業認定を目指しています。

今回の「浅草六区オープンカフェ2016」は、六区ブロードウェイにオープンカフェやマルシェ、パフォーマンスステージを4月16日(土)から9日間常置し、国内外問わず浅草観光に訪れた皆様にお楽しみいただきます。

本来、道路法により道路空間に設備等を設置し、継続して道路を使用することは禁止されていますが、将来的に国家戦略特区の事業認定を受け、六区ブロードウェイをホワイエ化します。

また、世界最大のWi-Fiサービス「FON」と共同で浅草六区に訪日外国人観光客向け無料Wi-Fiを提供している株式会社ワイヤレスゲートが、Wi-Fi接続時のトップ画面で公演情報を表示し、劇場のホワイエに設置される公演のちらしの役目を果たすサービスを提供します。さらに、Free Wi-Fi接続により収集した外国人観光客の動向データの提供をワイヤレスゲートより受け、“興行街”浅草六区の再生に活用します。

(※1)劇場やホールなどの施設で、出入り口とホール客席部分の間にある広間。開演前や休憩時間の歓談や休憩などに用いる。飲食スペースとつながることが多い。(出典:コトバンク <https://kotobank.jp/word/%E3%83%9B%E3%83%AF%E3%82%A4%E3%82%A8-23421>)

(※2)国家戦略特区とは、産業の国際競争力の強化、国際的な経済活動拠点の形成の促進を目的に、国が定めた区域において規制改革等を推進する施策

加えて、“ホワイエ”となる六区ブロードウェイの入り口に「六区セントラルスクエア」(※呼称:六区 JAPANKURU スクエア)が4月16日(土)にオープンします。浅草観光の利便性向上を目的に、訪日外国人に多言語化された日本の魅力的なコンテンツを配信する「Japankuru サービス」。その運営を行なう株式会社グローバル・デイリーが訪日外国人向け観光案内所を設置します。加えて、ロングランプランニング株式会社が国内外の観光客向けに興行チケットを販売する「Tickets Today Asakusa」を出店します。さらに、たこ焼チェーン「築地銀だこ」などを手掛け、日本の食文化を世界に発信する株式会社ホットランドが、新業態として「浅草 甘辛団子」と名付けた揚げ団子を初出店し、劇場のホワイエで販売されることが多いホットスナックを提供します。



▲六区セントラルスクエア(イメージ)

来たる2020年を見据え、エンターテインメントを中心に国内外観光客の憩い・休息の場となる空間や賑わいを創出し、浅草の興行街の復活を目指して参ります。

## ■社会実験実施概要

【名称】「浅草六区オープンカフェ 2016」～道路空間を活用したオープンカフェ社会実験～

【実施期間】2016年4月16日(土)～4月24日(日)

【場所】六区ブロードウェイ(ROX～浅草演芸ホール)

【実施主体】六区ブロードウェイ商店街振興組合

【実施内容】○オープンカフェ

出店: 築地銀だこ、コールド・ストーン・クリーマリー  
※営業は土日のみ

○マルシェ

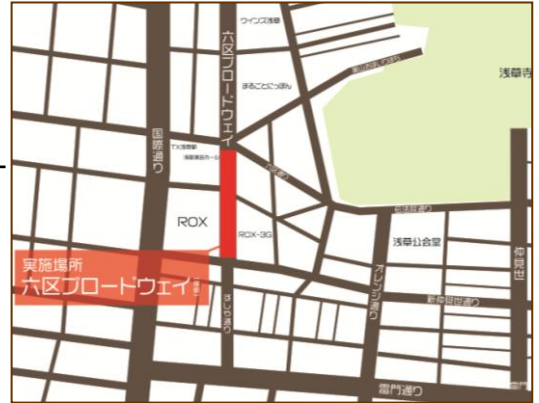
・浅草たつみや: 浅草創業70年、浅草たつみや。  
こだわりの和小物や食材を特別販売

・METHOD: 株式会社シーズメンが展開する和柄  
Tシャツなどのカジュアルウェアの販売

・Perfumery K-crew: 香水専門店

○エンターテインメントイベント各種

※営業時間は午前11時～午後6時



## ■六区セントラルスクエア概要

【所在地】東京都台東区浅草 2-5-5

【事業者】セグラスグループホールディングス株式会社

【開業日】2016年4月16日(土)

【出店店舗】

○店舗名 : Japankuru コンシェルジュデスク

・営業時間 : 午前10時～午後7時

・定休日 : 不定休

・提供サービス : 1. 訪日外国人に向けた、コンシェルジュサービス(情報センター機能)

・多言語での道案内

・訪日外国人向け体験型観光のご提案

・浅草エリアでの1日観光プランニングサービスetc

2. 訪日外国人向け商品サンプリング及びアンケート調査

3. ドリンクや軽食のコーディネートサービス(仮)etc

※サービス内容及び営業時間等は、今後予告なく変更する恐れがありますので予めご了承ください。

○店舗名 : Tickets Today Asakusa

・営業時間 : 午前10時～午後7時

・定休日 : 不定休

・提供サービス : 外国語対応スタッフによる店舗限定割引価格の興行チケットの販売

○店舗名 : 浅草 甘辛団子 (あまからだんご)

・営業時間 : 午前10時～午後8時

・定休日 : 不定休

・提供サービス : 揚げ団子、アイスキャンディーの販売

○店舗名 : TUCショップ浅草六区店

・営業時間 : 午前11時～午後23時

・定休日 : 年中無休

・提供サービス : 1. 賞品買取

2. 外貨両替

## ■六区ブロードウェイ商店街振興組合 概要

代表理事：熊澤永行

所在地：東京都台東区雷門1-14-6 3階

設立年月日：平成6年4月11日

会員数：33店舗

商店街 URL：<http://www.asakusa6.jp>

## ■浅草六区誕生 130 周年記念事業「浅草六区再生プロジェクト～For the future of the “Rock”～」概要

名称：浅草六区誕生 130 周年記念事業「浅草六区再生プロジェクト～For the future of the “Rock”～」

主催：六区ブロードウェイ商店街振興組合

期間：2013年9月26日(木)～2016年10月1日(土)

基本理念：浅草六区誕生 130 周年という記念すべき年を、先人達が築いてきた歴史や文化に触れ、浅草六区が持つ「歴史資産」と「未来」をテーマに“浅草六区＝エンターテインメントエリア”として改めて世界や未来に向け、発信する契機とする。

目的：土地の有効利用と建物用途の誘導といった、これまでの事業を継承しつつ、六区ブロードウェイを中心に浅草の歴史と伝統、芸能文化に培われた興行街にふさわしい事業の形成を図り、未来に向けて、浅草の魅力と賑わいに貢献する“興行街”浅草六区の再生を行うこと

- 事業内容：A 活性化計画事業  
B 環境整備(インフラ整備)事業  
C イベント事業  
D サービス向上事業

浅草六区は、1883年9月26日に浅草公園として造成完了し、その翌年の1884年1月に浅草公園が六区画に区分けされ誕生しました。さらに、1886年10月1日には浅草六区で最初の劇場「常盤座」が開場したことから、2013年9月26日が浅草六区造成完了130周年、2014年1月が浅草六区誕生130周年、2016年10月1日が浅草六区劇場誕生130周年にあたります。この2013年9月26日から2016年10月1日の約3年間で、浅草六区造成～区画化～劇場街として誕生してから130周年となる3年間にあたることから、浅草六区誕生130周年記念事業「浅草六区再生プロジェクト～For the future of the “Rock”～」を3カ年事業としています。

浅草六区は、国際観光都市「浅草」を象徴する浅草寺の西側に位置し、かつては東京一の興行街として、また現在では浅草の新たな西の玄関口として、浅草観光の拠点を担う地区です。そこで、2011年3月16日に「浅草六区地区地区計画(※)」として都市計画決定・告示、建築条例公布・施行されました。既に、「浅草六区地区 地区計画」に沿う形で、シアターレストランを備える「ドン・キホーテ浅草店」(2013年12月オープン)、スポーツ練習場などを備える「ROX・3G」(2015年3月オープン)、全国各地の魅力が集積する地域振興の総合拠点「まるごとにっぽん」(2015年12月オープン)がオープンし、劇場を備える「マルハン松竹六区タワー」(オープン日未定)のオープンが予定されています。

